

第2期中期目標期間における自己点検・評価体制に関する基本方針

平成22年9月14日
大学評価委員会

1. 基本方針

文部科学省に置かれる国立大学法人評価委員会や各種認証評価機関は、第2期の評価について、評価方法の大幅な簡素化とともに、改善サイクルの機能を各法人の主体的な点検・評価の取組に委ねる方針としている。このことに鑑み、第2期の九州大学の自己点検・評価体制に関する基本方針を以下の4点とし、取組を推進することとする。

(1) 自己点検・評価の着実な実施

本学は、中期目標・中期計画を着実に推進し大学の諸活動の改善・充実を図るため、不断に自己点検・評価を実施し、国立大学法人評価及び認証評価等に対応する。

部局及び事務局担当部署は、第2期の国立大学法人評価及び機関別認証評価に向けて自己点検・評価体制の整備、関連データ・資料の蓄積・分析等を行う。(スケジュールは別紙参照)

(2) 自己点検・評価に係る業務負担の軽減

① データベースを活用した自己点検・評価

部局は、「大学評価ウェアハウス」を活用し教育研究等の活動状況を示す関連データ・資料を用いるなど、自己点検・評価に係る業務負担の軽減を図りつつ、部局の状況に応じた方法により、部局の中期目標・中期計画の進捗状況を確認する。

事務局担当部署は、部局の活動状況を踏まえた上で「中期目標・中期計画進捗管理システム」を活用するなど、自己点検・評価に係る業務負担の軽減を図りつつ、全学の中期目標・中期計画の進捗状況を確認する。

② 自己点検・評価体制の見直し

大学評価専門委員会の下に置く「分科会」の縮小など、自己点検・評価の効率化・省力化に向けて実施体制の見直しを行う。

(3) 次年度計画等への反映

① 年度途中における進捗状況の確認

事務局担当部署は、自己点検・評価の結果を次年度計画に反映させるため、年度の途中において年度計画の進捗状況の確認を行う。

② 「重点項目」の進捗状況の審議

全学の中期計画のうち特に重要な項目については、定期的に大学評価専門委員会において進捗状況に関する審議を行う。

(4) 評価情報の公開促進

本学は、社会的説明責任を果たすため、中期目標・中期計画の進捗状況、担当、責任等を分かりやすい形で積極的に公開する。

2. その他

上記の基本方針の実現に向けて、企画課及び大学評価情報室は、部局及び事務局担当部署と共働し、計画立案、自己点検・評価に関する指導・助言、データベースの開発及び「研究者情報」等の評価情報の分析・提供等を積極的に行う。

全学・部局の計画・活動及び点検・評価スケジュール(予定)

(別紙)

H24.4.1

